

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年7月27日(2017.7.27)

【公表番号】特表2016-524933(P2016-524933A)

【公表日】平成28年8月22日(2016.8.22)

【年通号数】公開・登録公報2016-050

【出願番号】特願2016-520537(P2016-520537)

【国際特許分類】

A 4 7 J 31/36 (2006.01)

A 4 7 J 31/06 (2006.01)

A 4 7 J 31/44 (2006.01)

A 4 7 J 31/60 (2006.01)

A 4 7 J 31/46 (2006.01)

【F I】

A 4 7 J 31/36 1 2 0

A 4 7 J 31/06 3 2 0

A 4 7 J 31/36 3 2 0

A 4 7 J 31/44 5 1 0

A 4 7 J 31/60

A 4 7 J 31/46

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月13日(2017.6.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

浸出飲料を調製する装置であって：

・浸出させるべき材料を乾燥した状態で収納するカプセル(3)であり、フィルタ壁を有する前面、前記前面を包囲するリング、前記前面とは反対側の後面、前記リングと前記後面との間に延在して浸出させるべき材料を収納するよう構成した容器を画定する一体ケーシングを設けた、該カプセル(3)を、前記カプセルの前面がほぼ垂直方向に延在する所定位置に収容するよう構成した支持体(2)と；

・前記支持体(2)が前記カプセル(3)を収容するとき浸出用液体を前記カプセル(3)内に導入するよう構成した注入手段と；

・ほぼ垂直方向に延在する開口を有する浸出チャンバ(1)であって、前記ほぼ垂直方向に延在する開口が前記フィルタ壁と流体連通するよう構成し、前記リングが流体交換ゾーンの外側の周囲環境に対する流体密の流体連通を維持するよう構成した封止手段を有する、該浸出チャンバ(1)と；及び

・浸出した液体が前記浸出チャンバ(1)から流出できるよう構成した開閉手段を設けた出口と；

を備えた、該装置において、

・前記浸出用液体を注入する手段は、浸出用液体注入管(8)を介して前記浸出チャンバ(1)に達し、また

・さらに、前記装置は、

第1端部及び第2端部を有するシリンダ(9)であって、前記第1端部がカプセル(3)

)の後面及び前記一体ケーシングを収容するよう構成した少なくとも1つの中空収容ゾーンを有する、該シリンダ(9)と、及び前記シリンダと前記浸出チャンバ(1)との間に水平方向の相対並進運動を生じ、圧縮力を前記封止手段に加えることによって流体連通を維持するよう前記カプセル(3)と前記浸出チャンバ(1)との間の緊密性を維持する構成とした並進手段とを備えたことを特徴とする、装置。

【請求項2】

請求項1記載の装置において、前記並進手段を前記シリンダ(9)に連結し、前記シリンダ(9)は後退した第1位置と接触を生ずる第2位置をとるものとし、前記並進手段は、前記シリンダ(9)を前記第1位置と前記第2位置との間で移動させるよう構成し、前記第2位置は、前記カプセル(3)が前記浸出チャンバ(1)と緊密に接触して、前記圧縮力を前記封止手段に加える位置に対応するものとする、装置。

【請求項3】

請求項1記載の装置において、前記シリンダ(9)と同心状に配置され、前記並進手段に対して連結又は一体構成にした、第2シリンダが設けられ、前記第2シリンダは、前記カプセル(3)の前記後面に圧力を加え、前記封止手段に圧縮力を加えて前記周囲環境に対して流体連通緊密性を維持することを可能にする、装置。

【請求項4】

請求項1記載の装置において、前記並進手段を前記浸出チャンバ(1)に連結し、前記浸出チャンバ(1)は後退した第1位置と接触を生ずる第2位置をとるものとし、前記並進手段は、前記浸出チャンバ(1)を前記第1位置と前記第2位置との間で移動させるよう構成し、前記第2位置は、前記カプセル(3)が前記浸出チャンバ(1)と緊密に接触して、前記圧縮力を前記封止手段に加える位置に対応するものとする、装置。

【請求項5】

請求項4記載の装置において、第2シリンダが設けられ、該第2シリンダが前記シリンダ(9)と同心状に配置されて、前記カプセル(3)の前記後面に圧力を加え、前記封止手段に圧縮力を加えて前記周囲環境に対する流体連通緊密性を維持することを可能にする、装置。

【請求項6】

請求項4記載の装置において、前記並進手段を前記シリンダ(9)及び前記浸出チャンバ(1)に連結し、前記シリンダ(9)及び前記浸出チャンバ(1)は後退した第1位置と接触を生ずる第2位置をとり、前記並進手段は、前記浸出チャンバ(1)及び前記シリンダ(9)を前記第1位置と前記第2位置との間で移動させるよう構成し、前記第2位置は、前記カプセル(3)が前記浸出チャンバ(1)と緊密に接触して、前記圧縮力を前記封止手段に加える位置に対応するものとする、装置。

【請求項7】

請求項1記載の装置において、前記カプセル(3)の前記後面に配置した情報を読み取るよう構成した検出手段を備え、前記検出手段は、前記シリンダ(9)又は前記第2シリンダ内に少なくとも部分的に拘束する、装置。

【請求項8】

請求項1記載の装置において、前記浸出用液体注入管を、前記ほぼ垂直方向に延在する開口の近傍で前記浸出チャンバ(1)の上側部分に接続する、装置。

【請求項9】

請求項1の装置において、さらに、前記浸出用液体を加熱する手段、及び、前記浸出用液体を加熱する手段に接続しているか又は前記浸出用液体を加熱する加熱手段を有する、前記浸出用液体の容器を備える、装置。

【請求項10】

請求項1記載の装置において、さらに、一方で、前記浸出用液体注入管に接続した、及び随意的に浸出用液体の前記容器の形式とした浸出用液体源に接続し、他方で、浸出用液体を加熱する前記加熱手段及び前記並進手段に接続したポンプを備える、装置。

【請求項11】

請求項 1 記載の装置において、前記浸出用液体注入管は、直線的ゾーンを有し、また一方の端部を前記浸出チャンバ(1)に接続し、前記直線的ゾーンがほぼ垂直方向に延在し、前記浸出チャンバ(1)に堅固に接続し、また例えば、前記浸出チャンバ(1)及び前記直線的ゾーンの同時成形によって得る、装置。

【請求項 1 2】

請求項 1 記載の装置において、前記浸出チャンバ(1)は頂部を有し、前記頂部において、第 1 頂部水平方向正接面及び前記浸出チャンバ(1)を 2 つの部分に分割する正中面が通過するものとし、前記 2 つの部分のうち第 1 の部分が前記ほぼ垂直方向に延在する開口を有するものとし、前記ほぼ垂直方向に延在する開口も、前記第 1 頂部水平方向正接面に平行である第 2 水平方向正接面が通過する頂部を有し、前記浸出用液体注入管を、浸出用液体が通過するよう前記浸出チャンバ(1)の外壁に貫通する浸出用液体通過開口を介して前記浸出チャンバ(1)に接続し、前記浸出用液体通過開口は、前記第 1 頂部水平方向正接面と、前記第 2 水平方向正接面との間で前記第 1 の部分に位置する、装置。

【請求項 1 3】

浸出飲料を調製する方法において：

・浸出させるべき材料を乾燥した状態で収納するカプセル(3)であって、フィルタ壁を有する前面、前記前面を包囲するリング、前記前面とは反対側の後面、前記リングと前記後面との間に延在して浸出させるべき材料を収納するよう構成した容器を画定する一体ケーシングを設けた、該カプセル(3)を、前記カプセルの前面がほぼ垂直方向に延在する所定位置をとるよう支持体(2)に導入する導入ステップと；

・浸出用液体を前記カプセル(3)の前記容器内に注入する注入ステップと；

・前記カプセル(3)の容器と流体連通する浸出チャンバ(1)内で浸出した飲料を形成するよう、浸出されるべき乾燥した状態の前記材料を浸出用液体で浸出させる浸出ステップと；及び

・前記浸出ステップ後に、前記浸出チャンバ(1)の底部に配置した開口から浸出した液体を流出させる流出ステップと；

を備え、

・前記カプセル(3)の容器内への浸出用液体の注入は、前記浸出チャンバ(1)を經由して前記浸出チャンバ(1)内に行うものとし、さらに、シリンダ(9)と前記浸出チャンバ(1)との間に相対並進運動を生じて、前記カプセル(3)と前記浸出チャンバ(1)との間における前記流体連通の緊密性を維持し、前記シリンダ(9)は、第 1 端部及び第 2 端部を有し、前記第 1 端部がカプセル(3)の後面及び前記一体ケーシングを収容するよう構成した少なくとも 1 つの中空収容ゾーンを有するものとし、また前記方法は、前記シリンダと前記浸出チャンバ(1)との間に水平方向の相対並進運動を生じ、圧縮力を封止手段に加えることによって流体連通を維持するよう前記カプセル(3)と前記浸出チャンバ(1)との間の緊密性を維持する並進手段により前記相対並進運動を行うことを特徴とする、方法。

【請求項 1 4】

請求項 1 3 記載の方法において、前記並進運動は前記シリンダ(9)及び前記浸出チャンバ(1)のうちの少なくとも一つの並進運動とする、方法。

【請求項 1 5】

請求項 1 4 記載の方法において、前記浸出ステップの一部は前記注入ステップと同時に生ずるようにし、前記浸出用液体の注入は、頂部から底部に向けて行い、前記浸出チャンバ(1)内に既に存在している前記浸出用液体に乱流を生ぜしめ、前記浸出用液体の内容を均質化する、方法。